

質問回答

平成 25 年 7 月 22 日

モンゴル国日本モンゴル教育病院整備計画準備調査（公示日：平成 25 年 6 月 26 日）について、業務指示書に関する質問と回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
001	1. プロジェクトの背景、業務指示書 P11	本文中にモンゴル健康科学大学医学部の記述の中で、医学生 2,900 人、常勤教員 110 人とあります。モンゴル国唯一の医師教育機関ということで大人数の規模となっておりますが、その内訳等がございましたらご教示いただきたくお願いいたします。また、教員につきまして非常勤教員の人数がございましたら教示いただきたくお願いいたします。	情報を有しておりません。
002	(7) 用地選定、業務指示書 P15	本件実施のための建設用地ウランバートル市側によって既に確保されていると理解いたしますが、その候補地は複数あるのでしょうか。その具体的な場所についてご教示いただくことは可能でしょうか。	事前検討により、現在候補地は一カ所ですが、確定はしておりません。具体的な場所は本調査を通して確定していきます。
003	(8) 施設設計、(9) 機材計画、業務指示書 P16	本件実施後は、三次レベルの臨床実習は既存の 16 ヶ所の三次医療施設で行い、一次から二次レベルの実習は、本件対象施設で行うという整理でよろしいでしょうか。一方、日本の先進的な病院仕様の要請があるということですので、必要性がある場合本件で二次レベルに加えて三次レベルの機能も部分的に付加することは可能でしょうか。	一次から二次レベルの臨床実習施設の一つとして本件対象施設の活用が想定されています。病院は指示書 5.(8) 施設設計に記載の通り「地区病院（二次レベル）としての標準的な機能、及び教育病院を基本」としています。先進的な病院仕様とは、指示書 5.(8) 施設設計に「バリア・フリー、画像保存通信システム、完全電子化による病院情報管理システム等の導入など」とあるように、必ずしも三次レベル特有の仕様を意味するものではありません。

以上